

製品名: ALDH2 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM83059**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	人間、マウス、ラット、サル、ウサギ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:500,ICC 1:50-1:500,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	56.3kDa

抗原情報

遺伝子名	ALDH2
別名	ALDM; ALDHI; ALDH-E2
遺伝子 ID	217.0
SwissProt ID	P05091
免疫原	大腸菌で発現したヒト ALDH2 (AA: 317-517) の精製された組み換え断片。

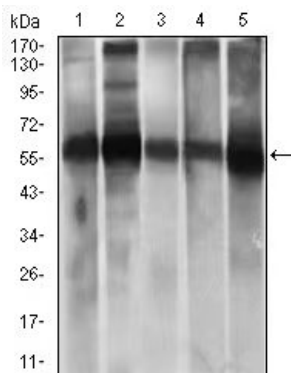
背景

このタンパク質はアルデヒド脱水素酵素ファミリーに属します。アルデヒド脱水素酵素は、アルコール代謝における主要な酸化経路の 2 番目の酵素です。アルデヒド脱水素酵素には、細胞質型とミトコンドリア型の 2 つの主要な肝臓アイソフォームがあり、電気泳

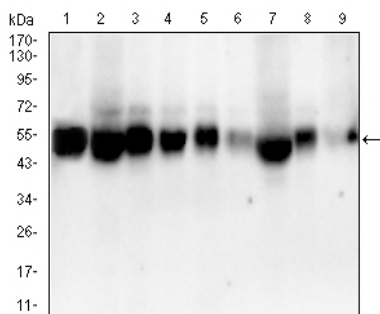
動移動度、速度論的特性、細胞内局在によって区別できます。ほとんどの白人は2つの主要なアイソザイムを有しますが、東洋人の約50%は細胞質型アイソザイムを有し、ミトコンドリア型アイソザイムは有しません。東洋人における急性アルコール中毒の頻度が白人よりも著しく高いのは、ミトコンドリア型アイソザイムの触媒活性型の欠如と関係している可能性があります。触媒不活性型を持つ人はアセトアルデヒドへの曝露量が増加し、多くの種類の癌に対する感受性が高まる可能性があります。この遺伝子は、アセトアルデヒドに対するKm値が低く、ミトコンドリアマトリックスに局在するミトコンドリアアイソフォームをコードしています。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写産物バリエーションが生成されます。

研究分野

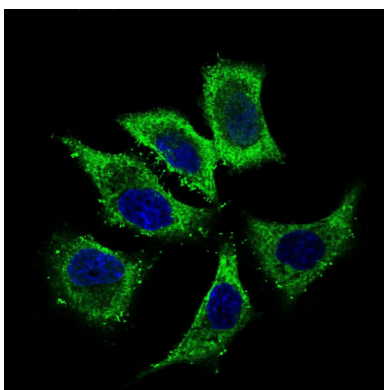
画像データ



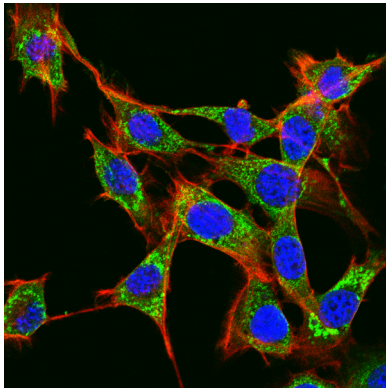
HepG2(1)、A549(2)細胞溶解物およびラット肝臓(3)、マウス肝臓(4)、マウス脳(5)組織溶解物に対するALDH2マウスmAbを用いたウエスタンブロット分析。



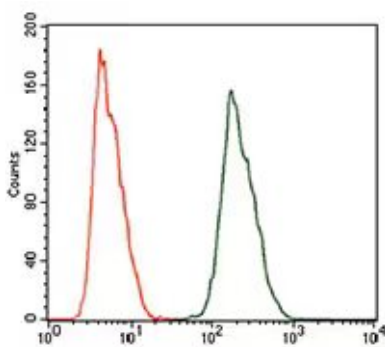
マウス肝臓 (1)Raw264.7(2)NIH/3T3(3)NRK(4)C2C12(5)C6(6)F9(7)COS-7(8)CHO3D10(9)細胞溶解物に対するALDH2マウスmAbを用いたウエスタンブロット解析。



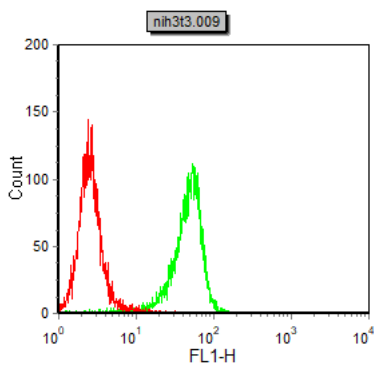
ALDH2マウスmAb(緑)を用いたHepG2細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光DNA 標識。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識したアクチンフィラメント。



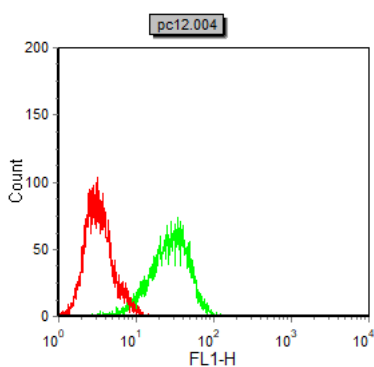
ALDH2 マウス mAb (緑) を用いた NIH/3T3 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



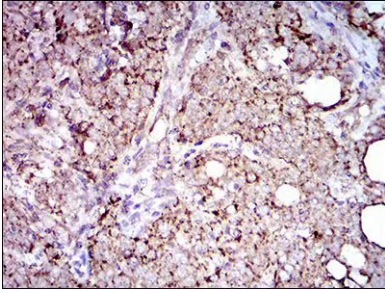
ALDH2 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (紫) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。



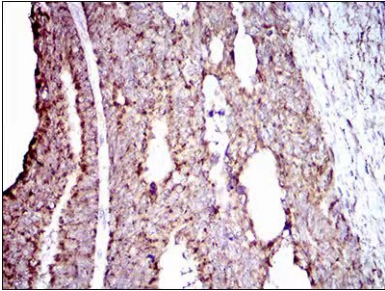
ALDH2 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した NIH/3T3 細胞のフローサイトメトリー分析。



ALDH2 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した PC-12 細胞のフローサイトメトリー分析。



ALDH2 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋子宮頸癌組織の免疫組織化学分析。



ALDH2 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋直腸癌組織の免疫組織化学分析。